



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月31日

上場会社名 菱電商事株式会社

上場取引所 東

コード番号 8084 URL <http://www.rvoden.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 山下 聰

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長

(氏名) 田中 信三

TEL 03-5396-6111

四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	161,098	9.5	3,357	32.7	3,721	40.3	2,350	40.3
25年3月期第3四半期	147,151	△0.2	2,529	8.8	2,653	13.3	1,675	27.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 3,637百万円 (123.6%) 25年3月期第3四半期 1,627百万円 (70.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	54.17	—
25年3月期第3四半期	38.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	114,684	56,868	49.6	1,310.83
25年3月期	107,872	54,121	50.2	1,247.15

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 56,868百万円 25年3月期 54,121百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	228,500	12.2	5,420	22.8	5,720	22.7	3,650	27.9	84.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期3Q	45,649,955 株	25年3月期	45,649,955 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期3Q	2,266,489 株	25年3月期	2,253,753 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	43,388,952 株	25年3月期3Q	43,399,523 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現段階において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(四半期連結損益計算書)	5
(四半期連結包括利益計算書)	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の底入れ感や米国の堅調な成長などに支えられ回復傾向にあるものの、新興国の成長鈍化など先行き不透明感も残されています。一方、国内経済は、金融政策を受けた円安・株高の進行や復興需要の継続、消費税増税前の駆け込み需要などにより、景気回復の傾向はより顕著になっています。

当社グループの取引に関する業界は、デジタル家電業界の低迷の影響は引き続きみられたものの、産業機器業界は回復傾向にあり、また自動車関連及びエネルギー関連は概ね堅調に推移いたしました。

このような状況下、当社グループは、ワールドワイドに顧客に付加価値を提供する「グローバル・ソリューション・プロバイダー」への進化を図るべく、本年度を始期とする新中期経営計画「GSP・15 (Growth Strategy Plan 2015)」を推進しています。

その結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 1,610 億 98 百万円(前年同期比 9.5%増)、営業利益 33 億 57 百万円(前年同期比 32.7%増)、経常利益 37 億 21 百万円(前年同期比 40.3%増)、四半期純利益 23 億 50 百万円(前年同期比 40.3%増)となりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、RYOSHO KOREA CO., LTD. を、第2四半期連結会計期間より、菱商電子諮詢(深圳)有限公司を連結の範囲に含めております。

報告セグメントの業績は次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より、グローバル・ソリューション・プロバイダーとしてのビジネス拡大に向けた組織変更に伴い、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①FA・環境システム事業

【当第3四半期連結売上高 478 億 97 百万円(前年同期比 6.6%増)、営業利益 10 億 67 百万円(前年同期比 22.7%減)】

FAシステムでは、主力の半導体・液晶関連製造装置や工作機械関連の生産が回復傾向にあり、また、自動車関連の設備投資も堅調に推移し、増収となりました。

冷熱主機では、節電・省エネ対応のリプレース需要は底堅いものの、首都圏での大手設備業者向け案件が減少し、減収となりました。

ビルシステムでは、基幹商品であるエレベーターは伸び悩みましたが、再生可能エネルギー関連商材の販売が好調に推移し、大幅な増収となりました。

情報通信デバイスでは、新規IT投資の抑制は依然として継続しているものの、医療機関向けソリューションの拡大により、売上高は横這いとなりました。

②半導体・デバイス事業

【当第3四半期連結売上高 1,132 億 1 百万円(前年同期比 10.7%増)、営業利益 22 億 77 百万円(前年同期比 99.2%増)】

国内では、自動車関連はエコカーを中心とした需要が堅調に推移したことに加え、北米・中国向けなどへの輸出が回復し、また産業機器関連も太陽光発電等省エネ関連ビジネス向けや住宅関連ビジネス向けが好調に推移したものの、顧客の生産・調達機能の海外移管の加速があり、売上高は横這いとなりました。

海外子会社では、自動車関連やOA機器関連製品向け電子部品の販売が好調に推移し、大幅な増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、現金及び預金が60億38百万円減少しましたが、短期貸付金が63億10百万円、受取手形及び売掛金が26億52百万円、商品及び製品が19億0百万円増加したこと等により、資産合計は前連結会計年度末比68億12百万円増加し、1,146億84百万円となりました。

負債の部は、支払手形及び買掛金が39億42百万円増加したこと等により、負債合計は前連結会計年度末比40億65百万円増加し、578億16百万円となりました。

純資産の部は、四半期包括利益36億37百万円、配当金8億67百万円の計上等により、純資産合計は前連結会計年度末比27億47百万円増加し、568億68百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前期末比0.6ポイント減少し、49.6%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末比4億60百万円増加し、233億42百万円の残高となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において営業活動から得られた資金は、26億0百万円（前年同期比37億18百万円収入減）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益37億21百万円の計上、売上債権・たな卸資産・仕入債務の増加によるネット資金の増加1億53百万円と、法人税等の支払17億36百万円によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において投資活動に使用した資金は、20億18百万円（前年同期比20億35百万円支出増）となりました。これは主に、有形・無形固定資産の取得支出6億8百万円と、投資有価証券の売買によるネット支出16億84百万円によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間において財務活動に使用した資金は、7億3百万円（前年同期比1億30百万円支出増）となりました。これは主に、配当金の支払8億32百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年5月15日に公表いたしました予想数値を修正しております。修正の内容及び修正の理由につきましては、本日別途公表しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現段階において合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は見通しと異なることがあります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

・税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(2) 追加情報

当社は、平成25年5月15日開催の取締役会において、役員退職慰労金制度を廃止することを決議し、平成25年6月27日開催の定時株主総会終結の時をもって廃止いたしました。また、当該定時株主総会において、本制度の廃止に伴い、在任中の取締役及び監査役に対し、それぞれ就任時から当該定時株主総会終結の時までの在任期間に対応した役員退職慰労金を退任時に打切り支給することを決議しております。

なお、第1四半期連結会計期間において、当社「役員退職慰労引当金」残高を全額取崩し、打切り支給に伴う未払額224百万円を固定負債の「その他」に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,881	16,843
受取手形及び売掛金	52,488	55,140
有価証券	—	1,198
商品及び製品	15,662	17,562
短期貸付金	188	6,498
その他	3,600	3,215
貸倒引当金	△76	△88
流動資産合計	94,744	100,371
固定資産		
有形固定資産	4,128	4,341
無形固定資産	409	498
投資その他の資産		
その他	8,637	9,515
貸倒引当金	△47	△42
投資その他の資産合計	8,589	9,472
固定資産合計	13,127	14,312
資産合計	107,872	114,684
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,248	48,190
短期借入金	2,123	2,584
未払法人税等	968	635
その他	3,202	2,854
流動負債合計	50,543	54,265
固定負債		
退職給付引当金	1,981	2,299
その他	1,226	1,251
固定負債合計	3,207	3,550
負債合計	53,751	57,816
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,334	10,334
資本剰余金	7,375	7,375
利益剰余金	37,275	38,743
自己株式	△815	△824
株主資本合計	54,169	55,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	558	1,186
為替換算調整勘定	△606	53
その他の包括利益累計額合計	△47	1,239
純資産合計	54,121	56,868
負債純資産合計	107,872	114,684

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	147,151	161,098
売上原価	132,601	144,979
売上総利益	14,549	16,118
販売費及び一般管理費	12,020	12,761
営業利益	2,529	3,357
営業外収益		
受取利息	24	30
受取配当金	70	109
持分法による投資利益	68	58
為替差益	43	192
その他	87	105
営業外収益合計	294	497
営業外費用		
支払利息	37	38
売上割引	58	51
売上債権売却損	34	34
その他	40	9
営業外費用合計	170	133
経常利益	2,653	3,721
特別損失		
投資有価証券評価損	2	—
特別損失合計	2	—
税金等調整前四半期純利益	2,650	3,721
法人税等	974	1,371
少数株主損益調整前四半期純利益	1,675	2,350
四半期純利益	1,675	2,350

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,675	2,350
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	32	623
為替換算調整勘定	△81	659
持分法適用会社に対する持分相当額	0	3
その他の包括利益合計	△48	1,287
四半期包括利益	1,627	3,637
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,627	3,637
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,650	3,721
減価償却費	247	311
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△36	5
受取利息及び受取配当金	△95	△140
支払利息	37	38
持分法による投資損益 (△は益)	△68	△58
投資有価証券売却損益 (△は益)	26	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	8,689	△1,454
たな卸資産の増減額 (△は増加)	505	△1,298
仕入債務の増減額 (△は減少)	△5,530	2,906
その他	1,419	193
小計	7,846	4,224
利息及び配当金の受取額	102	149
利息の支払額	△36	△37
法人税等の支払額	△1,594	△1,736
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,318	2,600
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	1,061	—
有形固定資産の取得による支出	△203	△406
有形固定資産の売却による収入	2	1
無形固定資産の取得による支出	△92	△201
投資有価証券の取得による支出	△1,333	△1,914
投資有価証券の売却による収入	480	230
その他	101	273
投資活動によるキャッシュ・フロー	17	△2,018
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	211	137
自己株式の純増減額 (△は増加)	△1	△8
配当金の支払額	△783	△832
財務活動によるキャッシュ・フロー	△572	△703
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34	267
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,728	146
現金及び現金同等物の期首残高	12,067	22,881
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	72	314
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,868	23,342

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	F A・環境 システム	半導体・ デバイス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	44,934	102,216	147,150	0	147,151	-	147,151
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	0	7	128	135	△135	-
計	44,941	102,216	147,157	128	147,286	△135	147,151
セグメント利益 (営業利益)	1,381	1,142	2,524	27	2,552	△22	2,529

- (注) 1. 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△22百万円は、セグメント間取引消去であります。

II 当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額
	F A・環境 システム	半導体・ デバイス	計				
売上高							
外部顧客への売上高	47,897	113,201	161,098	0	161,098	-	161,098
セグメント間の内部 売上高又は振替高	38	-	38	123	161	△161	-
計	47,935	113,201	161,137	123	161,260	△161	161,098
セグメント利益 (営業利益)	1,067	2,277	3,344	39	3,384	△26	3,357

- (注) 1. 「その他」の内容は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、リース事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△26百万円は、セグメント間取引消去であります。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、収益力改善に向けた会社組織の変更に伴い、報告セグメントを従来の「F A・環境システム」、「半導体・デバイス」、「産業デバイス」の3区分から、「F A・環境システム」「半導体・デバイス」の2区分に変更しております。

旧セグメントの「産業デバイス」は「半導体・デバイス」へ統合しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、会社組織変更後の報告セグメントに基づき作成したものを開示しております。

4. 補足情報

ご参考までに、前第3四半期連結累計期間及び当第3四半期連結累計期間の地域別売上高は以下の通りであります。

前第3四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日）

【地域別売上高】

(単位：百万円)

日本	海外						連結合計
	アジア		北米	欧州	その他	海外計	
	中国	その他					
(77.3%) 113,727	(12.1%) 17,807	(7.5%) 11,028	(1.0%) 1,475	(2.1%) 3,112	- -	(22.7%) 33,423	(100%) 147,151

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
 2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比であります。

当第3四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日）

【地域別売上高】

(単位：百万円)

日本	海外						連結合計
	アジア		北米	欧州	その他	海外計	
	中国	その他					
(72.6%) 116,914	(14.1%) 22,643	(8.1%) 13,079	(1.2%) 1,970	(4.0%) 6,486	(0.0%) 4	(27.4%) 44,183	(100%) 161,098

- (注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
 2. 上段は連結売上高に占める地域別の構成比であります。